

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.187
2021.10

〔特集〕

遅ればせながら・・・北海道・北東北縄文遺跡群

世界文化遺産 登録バンザイ!!

1・2ページ

ちょっといいお話

心は見えないけれど、心遣いに見える?

3ページ

あっ!これ見たことある!

弘前市・りんご公園 すり鉢山の自然壁

4ページ

日本石材産業協会 青森支部主催

「墓石が語る江戸時代」講演会

5ページ

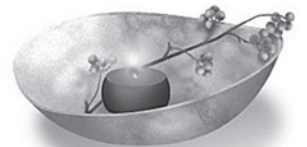
お客様の声

6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

良きご縁をありがとうございます

7ページ



きれいな「紅葉」を「狩る」!?



10月に入り、秋の気配も日に日に増してくる季節となりました。空気も澄み渡るこの時期の楽しみの一つに「紅葉狩り」があります。赤や黄色が優しく心を癒して、秋の行楽の代表格です。そんな綺麗な紅葉を「狩る」?

何となく物騒なイメージですね。でもそんなことはありません。「狩る」は元々獣を捕まえるという意味で使われておりましたが、果物などを採る意味にも使われはじめ、さらに草花を鑑賞するという意味にもなったそうです。

日本の紅葉は世界屈指の美しさを誇ります。季節の移り変わりを紅葉狩りで味わうのもいいかもしれませんね。

〔特集〕

遅ればせながら・・・北海道・北東北縄文遺跡群

世界文化遺産 登録バンザイ!!



青森店営業部 宮崎 陽

こんにちは。青森店営業部の宮崎です。

秋真っ盛り！？の今日この頃、食欲の秋にも負けず日々ダイエットに励んでおります。この努力の成果が見られるのは年末になるかもしれません。がんばります！

縄文遺跡群がついに世界文化遺産登録決定！！

さて突然ですが・・・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録が今年の7月27日に決定いたしました！！本当におめでとうございます！コロナ禍で気が滅入るニュースばかりでしたが、とても嬉しい限りです。

かく言うわたくし宮崎も、微力ながら登録に向けての活動を応援させて頂きました。

「どんな応援！？」と思われた方、大丈夫！ご説明いたします。

重い石をもって応援！誇りに感じます。

実は去年の10月、青森朝日放送様がお届けする情報番組「ハッピー」に出演させていただき、縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けた活動を紹介させていただきました。

ご存じのように、青森市には「環状列石（ストーンサークル）」で有名な「小牧野遺跡」がございます。私の役目と申しますと、「その石を古代縄文人がどうやって数千個の石を河原から数十キロ上の山の上まで運んだのか？」を実演するというものです。縄文探検娘として「リンゴ娘のときさん」も、一緒に汗水流して重い石を持ち上げます。

詳しい背景や歴史等は、もっと詳しい研究家さんに任せるとして、今回の活動に参加させていただいた事は、私にとりまして本当にうれしく、また誇りに思うばかりです。ありがとうございました。



ずっしりと重い石です。私もやっと持ち上げました。この大きさでも汗が出てきそうです。リンゴ娘のときさんの表情からも重さが伝わりそうですね。

縄文遺跡の代表格・・・三内丸山遺跡

三内丸山遺跡と言えば青森県が誇る縄文遺跡の代表格です。実はこの遺跡には「日本人のお墓の原点」を垣間見ることが出来る集落跡も発見されております。海から集落へと続く道路沿いにたくさんのお墓を造っていることが判明しました。海から獲れた恵みを、亡き人々へ捧げそして語りかけていたのではないのでしょうか。縄文人の愛情を感じるとともに、お墓の原点がもしかしたら青森県に・・・本当に驚きです。



晴わたる空に「三内丸山遺跡」奥には登録決定の横断幕が飾られ、これを見ているだけで県民として誇らしい気分になります。

身近に感じる縄文文化

縄文人と聞くと遙か昔の事と思いますが、意外と現代人と変わらない考え方や風習などが発見でき、身近に感じる事が出来ると思います。私たちの生活の身近に、たくさんの世界遺産がある環境はなかなかありません。是非、この機会に「縄文の文化」に触れてみてはいかがでしょうか。



三村知事を中心に、登録まで尽力を尽くしていただいた方々でバンザイ！！後ろではくす玉も割れて、華やかさも倍増です

最後に・・・縄文時代の人々の暮らしを現代に伝える北海道・北東北の遺跡群。これからの未来へと確実に伝えるという事はとても大きな意味・意義があります。その使命を担っているのが私たち現代人なのではないでしょうか。

ちょっといいお話

心は見えないけれど、 心遣いに見える？



ショールーム課 西村 葉子

さて今回はとある冊子に掲載されていた心に残ったお話をご紹介します。

心の供養を教わりました

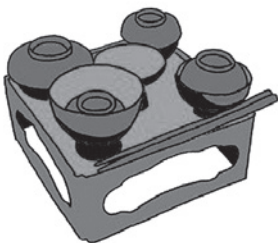
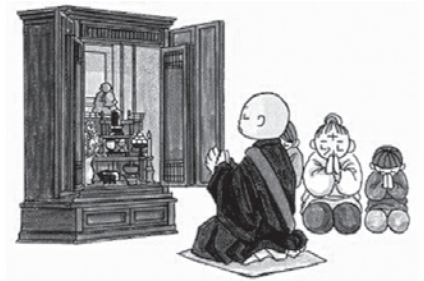
ある住職が檀家さんのご法事（亡くなったおじいさんのご供養）に伺った時のことです。

おばあさんの手作りで仏膳が用意され、さあ始めようと思った時、「ちょっと待って。忘れた、忘れた」と言いながら台所に走っていきました。

なんだろうと様子を見ていたら、お醤油を手にして戻り、「おじいさん、山菜好きでねえ。今朝、採ってきたんだよ」と言いながら仏膳の中の山菜のおひたしにお醤油をかけました。

「よしよしこれで良い。ごめんなさいね」と自分の席に戻りホッとしていたそうです。

ただこれだけのことだったのですが、ご住職はこの時おばあさんを見てハッとしたそうです。そして心の中で「ああ、そうだな、おばあさん、その通りですよ。私は大変失礼しておりました。一番大切なことを見落としていました」



ご住職にとって仏膳はいわゆる形だけのもので、お醤油をかけようが、かけまいが違いはなかったのです。でも、おばあさんにとってはお醤油をかけないとお供えしたことにはならないのです。

おばあさんはおじいさんに「好きだったものを食べさせたい」という思いを届けたわけで、まさに“心”をお供えしたんですね。

おばあさんにとっておじいさんはもう姿かたちはなくても、間違いなくおばあさんの中には生きている。目には見えなくても自分の気持ち次第で大切な心は伝わるんだということを教えてもらったような気がします。

あっ！これ見たことある！

弘前市・りんご公園 すり鉢山の自然壁



弘前店営業部 伊藤 杏美

こんにちは。弘前店営業部の伊藤です。

弘前市と聞いてみなさんが思い浮かべるのは、やはり「桜」と「りんご」ではないでしょうか。そのうちの一つ「りんご」にちなんだ「りんご公園」という場所が市内清水地区にございます。実はその石積み工事を（だいぶ前に）やまと石材で施工させていただきました。

公園の中心部に「すり鉢山」と呼ばれる、標高83mの小高い山があります。その裾野に、十和田で採れた石を使用して壁をつくりました。自然の石を一つひとつ丁寧に積み上げていき、年を重ねるごとに風合いが出てきて周りの雰囲気にもよく合います。

「すり鉢山」は江戸時代に津軽藩が小銃や大砲の練習の的にするため築いた人工の山で、頂上からは周囲のりんご公園や弘前市内、岩木山、八甲田連峰がパノラマで一望できます。

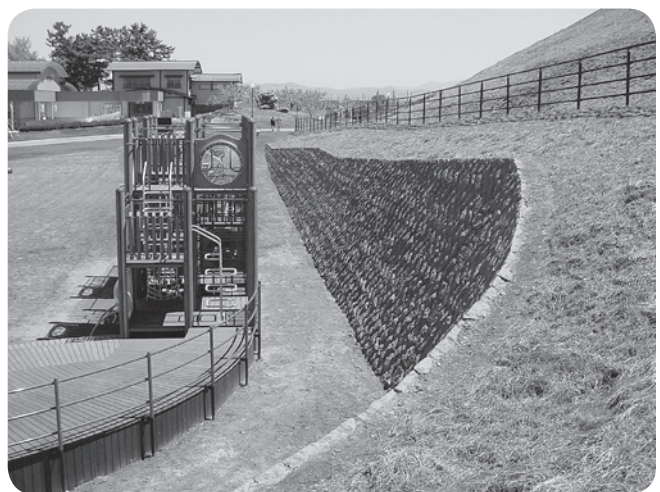


四角錐の形で、手割した石を積み上げました。

公園内には、「りんごの家」や「りんご生産園」、また弘前市指定文化財「旧小山内家住宅」などが有ります。りんごに触れ、りんごを学び、りんごで遊べる憩いの場として市民の皆様にも愛されています。

ただ、残念なことにコロナウイルス感染防止策により閉鎖されている可能性もございます。先日のホームページでは9月30日まで閉鎖の告知が出ておりました。事前の確認が必要です。

コロナが落ち着きましたら、ぜひ家族連れで遊びに行ってみてはいかがでしょうか。



自然に溶け込み、さらに深みを増していきます。

日本石材産業協会 青森支部主催

「墓石が語る 江戸時代」講演会



青森店営業部 山内 一磨

こんにちは。青森店営業部の山内です。

今回は日本石材産業協会・青森支部が主催する、講演会開催のご案内です。

来る11月29日(月)・14:00~15:30、場所は「十和田市民文化センター・生涯学習ホール」です。

講師の方は、弘前大学人分社会科学部教授、博士であります関根達人氏です。



やまと石材の会議の中で行われた講演の様子です。
みんな真剣に聞き入っておりました。

講演のお題目は「墓石が語る江戸時代」・・・
なんとも興味深い題名です。

実はこのお話は数年前にやまと石材の会議で行っていただいたものなんです。その後、東青森地区で講演が行われ、今回は上北地区で開催される運びとなりました。一番最初が私たちやまと石材だったというのが、個人的にも嬉しい限りです。

内容は、墓石に刻まれた戒名などから、江戸時代の様々な生活様式や形態が読み取れるということでした。関根氏の書かれた本(同題名)も読ませていただきましたが、耳で聴くとさらに理解度が増してまいります。当時はそれも重なってあっという間に講演が終わったことを思い出します。

お話の詳しい中身は、ぜひ皆様の耳でお聴きいただき、感じて頂ければと思います。

考えてみますと、私たちは「お墓」という後世にまで残される大切なものをご提供させていただいていることに気付かされます。

あらためてその大きさと責任を感じながら皆様のご納得のいくお墓づくりを心がけます。

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。本当にありがとうございました。

お墓を建てるのは家を建てるのに似ている？

青森市・S様

先日は、一周忌・納骨と、無事に終え。

やまと石材の社員の皆様方には、本当にお世話になり感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

お墓を建てるのは、家を建てるのに似ている？ 感じて。

見学から始まり、一つ一つ相談しながら決めていく。

いつのまにか、完成するまでの工程が楽しみになって。

相談しに行くたびに、期待とワクワク感が増していきました。

優しい感じのお墓にしたかったのが、完成したお墓を見た時は、本当に感無量で、思い描いた通りのお墓 ~~見て~~ 感動しました。

これから墓参りに行くのが楽しみに取りますね。

平田さんはじめ、スタッフの方々、丁寧な説明と心遣い。

ありがとうございました。



ピンクの石をお選びいただきましたので、優しく温かみのあるお墓が完成しました。特に花立の形にこだわり、イメージに合うように設計しました。またバリアフリーとベンチタイプのデザインにしたことで、ゆっくりとお墓まいりが出来そうです。

担当者からひとこと



青森店営業部 平田 響子

S様、この度は当社をお選びいただき、誠にありがとうございました。「思い描いた通りのお墓」というお言葉をいただき、大変嬉しい限りです。今後とも末永く宜しくお願いいたします。



「大切な人に贈りたい」 いつまでも語りつがれる絵本

たける
「多毛留」

米倉齊加年／著

漁師の阿羅志と美しい母の子「多毛留」。父も母も言葉を話さない。そういうものだ
思っていたある日、浜に2人の男が流れ着いた。母は駆け寄り溢れ出すように異国の言葉
を話し出した。多毛留の胸の中に流れた熱く切ない思い。とうとう多毛留は・・・

この絵本は俳優である米倉齊加年氏の作品です。第14回ポローニャ国際児童図書展「青少
年の本のグラフィック大賞」を受賞した作品です。ドラマチックなお話とエキゾチックな
絵がまるでひとつの御芝居を見ているよな絵本です。

この絵本は、私が18歳の時に「この絵本すごいよ」と、友達が大騒ぎして
見せてくれた絵本です。初めて読んだ時の衝撃は今も忘れられません。年を
重ねてもその時々に変え、今もなお新たな感動
を与え続けてくれる大人向けの絵本です。

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティア
を続けて10数年。心に響く素敵な絵本
を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

青森市新城	青森市羽白	弘前市小比内	東津軽郡平内町	青森市中佃	黒石市浅瀬石	青森市三内	弘前市城東北	宮城県仙台市太白区	青森市八重田	青森市八ツ役	青森市筒井	東津軽郡平内町	弘前市大原	青森市筒井	青森市本泉	黒石市境松	青森市桜川	弘前市清原	北津軽郡板柳町	青森市戸山	弘前市山王町	青森市後潟大原	青森市青葉	上北郡おいらせ町
-------	-------	--------	---------	-------	--------	-------	--------	-----------	--------	--------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------	-------	--------	---------	-------	----------

渡邊様	村上様	奈良岡様	三津谷様	雪田様	佐藤様	八幡村様	川村様	中村様	齋藤様	白取様	金子様	山田様	古山様	斎藤様	浅原様	横山様	津嶋様	井上様	三上様	玉熊様	小野様	佐藤様	久保田様	佐藤様
-----	-----	------	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

編集後記

今回特集でお届けしました世界文化遺産登録の「三内丸山遺跡」ですが、私が高校時代、小さな野球場らしきものがあつたような気がします（記憶が定かではありませんが）。その場所がこのように有名になってしまふとは！うれしい限りです。

(佐々木)

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録!



青森 やまと石材

検索